

# マイナ保険証 即効性に難

୭୬

### 受診・薬処方歴の反映 1カ月半後の例も

#### 「マイナ保険証」のメリットと課題は?



- 薬剤情報や医療費の記録が閲覧できる
  - データに基づいた質の高い医療が可能に

認証で受け付けが済み、医療機関側の業務負担が軽くなる

転職後もカードの交換は不要



總目錄

- データの反映に時間がかかる
  - 最大3年分しかみられない
  - 診断結果や検査結果の中身は確認できない

機器の不具合で使用できなくなる場合も

カードのICチップ内の電子回路  
回路は有効期間がある

マイナーバーカーの「保険証を一本化」た  
イ保険証に移行すれば、手一タッチで資の  
高い医療を成り立てる——。政府はひいメソッド  
を強調するが、現状の運用では課題があつや  
だ。現場の医師からは「メソッドを享受しない  
こと」の声もあるが。

マイナ保険証を巡り、  
岸田文雄首相は国会など  
で「質の高い医療、効率  
的で持続可能な医療を実  
現していくためには、現  
行の保険証を廃止し、イ  
○チップ付の新たな保  
険証に移行する必要があ  
ること繰り返してきた。  
具体的なメリットとは  
何か。厚生労働省は活用  
で過去に受けた診療実績

医師「結局、お薬手帳が便利」

が便利」や薬の処方、受診歴が確認できると説明する。  
例えば、マイナ保険証で受診した患者が医療機関で同意すれば、「A病院で●月▲日」「B錠剤を服用×回歴」などの情報が医師と一緒に共有される。同じ薬を出す「重複投薬」を防ぐほか、初めてかかる病院でも「記憶」ではなく、「記録」に基づいて患者の情報を把握できる。マイナンバーカードの専用サイト「マイナポータル」で、患者が自分の健康状態を確認するのも役立つという。  
しかし、現場の医師には複雑的な見方もある。「エクターケンクリック」(千葉市)の中村健一院長は「医療でかかる情報は中途半端で活用が難しこ」と語る。  
どうの、医師らが薬の処方箋などを閲覧できぬままで時間がかかるためだ。マイナ保険証の医療情報は、診療報酬明細書(レセプト)という医療の請求データがも

電子処方箋導入2%どまり

一方、政府は医療機関にイニシアチブを認め、「標準化・電子化」の導入をめざす。だが全国計約25万カ所の中でも「標準化・電子化」の導入をめざす。だが全国計約25万カ所の中でも「標準化・電子化」の導入をめざす。

田辺哲郎によると、保険証の普及に比べてデジタル化の恩恵が十分受けられる状況でないと、けられ、「手戻りであるマイナ保険証ばかりに突き進んでいるのは拙速で、過粗を抱いでいる」とある。

「ではないか」と話す。  
実際、厚労省が6月に  
公表したマイナ保険証の  
利用者一千人を対象にし  
た調査では、メリットを  
「特になし」とした回答  
が56・5%を占めた。